

まちづくり会議の終了と、今後の南吹田地域のまちづくりについて

吹田市が事務局として開催してきたまちづくり会議は、平成19年度から2年間にわたり合計14回の会議を重ねてきました。1年目には、地域の将来への想いを「南吹田地域まちづくり構想」として取りまとめられ、2年目にはその内容に基づいて、「地域主体のまちづくり」や「駅前交通広場」についても話し合いました。

また、吹田市としては、まちづくり会議から提案を受けたまちづくり構想を受けて、地域のまちづくりの基本方針としての「南吹田地域のまちづくり基本計画」を策定しました。

平成21年3月24日(火)の第7回まちづくり会議では、今後のあり方についても話し合い、今後は地域で南吹田地域のまちづくりを話し合い、活動する場をつくり、まちづくりを進めていこうということとなり、まちづくり会議は終了となりました。

今後はまちづくり基本計画にもとづく各事業・各施策を推進していくとともに、地域主体で取り組むまちづくり活動を支援していきます。

まちづくりトピック

「駅前交通広場」ってなんだろう？

駅前交通広場って何のためにつくるのですか？



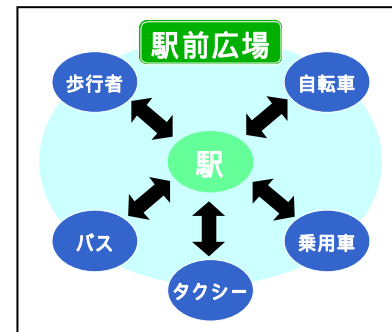
駅前交通広場は、鉄道と徒歩、自動車(バス、タクシー、一般車)などとの乗り継ぎを円滑で効率よく行えるようにする施設で、駅を中心として公共交通機関、駅を利用する多くの人が集まる場所です。このような機能を「交通結節点」と言います。

駅前交通広場は、道路の一部なので、歩道や車道の幅を確保する必要があります。

そのほかに求められる役割としては、待ち合わせや人の滞留のできる場所やそのまちな顔となるような場所、防災活動拠点になる場所としての機能があります。



南吹田二丁目に
新駅と駅前交通広場予定地があります

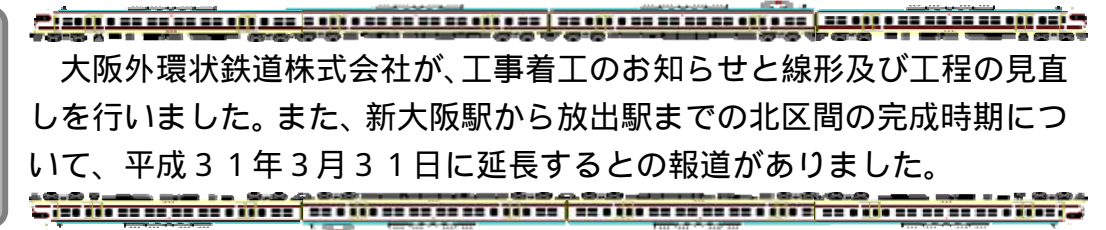


交通結節点のイメージ

編集後記

これまで意見を出し合ってきた駅前交通広場の計画について、「まちづくり会議案」としてまとめました。第7回まちづくり会議をもってまちづくり会議は終了となります。2年間ありがとうございました。今後も地域の皆様と一緒に、南吹田地域のまちづくりに取り組んでいきます。

速報



大阪外環状鉄道株式会社が、工事着工のお知らせと線形及び工程の見直しを行いました。また、新大阪駅から放出駅までの北区間の完成時期について、平成31年3月31日に延長するとの報道がありました。

駅前交通広場計画に対して、まちづくり会議案をまとめました！

平成20年度(昨年度)は「南吹田地域まちづくり会議(以下、まちづくり会議)」を全7回開催しました。

前半4回のまちづくり会議では、地域主体でのまちづくりの取り組みについて「何が出来るか」を話し合いました。

そして、後半3回のまちづくり会議では、おおさか東線(大阪外環状線鉄道)の新駅開設にあわせて吹田市が整備する駅前交通広場の計画案について話し合い、まちづくり会議としての「駅前交通広場計画まちづくり会議案(以下、まちづくり会議案)」をまとめました。



おおさか東線新駅予定地
(南吹田運動広場)



次のページ以降に、
昨年度のまちづくり会議の様子と、
駅前交通広場計画のまちづくり会議案を紹介しています。

平成21年3月に「南吹田地域のまちづくり基本計画」を策定しました

吹田市では、平成21年(2009年)3月に、「南吹田地域のまちづくり基本計画」(以下、基本計画)を策定しました。

この基本計画は、平成20年(2008年)3月、まちづくり会議から提案された「南吹田地域まちづくり構想」を尊重し、吹田市が南吹田地域において今後進めるまちづくりの方針を示しています。



今後は、この基本計画にもとづいて、各事業・各施策を推進し、
南吹田地域のまちづくりを進めていきます。

市のホームページでもご覧いただけます。また、基本計画概要版は都市整備室にて配付しております。

平成 20 年度まちづくり会議前半(第 1 回～第 4 回)の内容
～地域主体でのまちづくりの取り組みについてのワークショップ～

まちづくり構想を受けて、地域で取り組んでいくテーマについて「どんなことをしていきたいか」などを話し合いました。

「花いっぱいのもちづくり」、「まちの『ルール』づくり」、「リサイクル活動による環境にやさしいまちづくり」、「まちづくりの体制づくり」の 4 つのテーマがあがり、色々な取り組みが挙げられました。



花いっぱいのまちづくり

・花いっぱいテーマにまちのイメージを変えよう

- ・すいた里親道路制度などを使った活動に取り組む
- ・今ある自然環境を活かそう!
- ・緑の協定などのルールづくりをする
- ・コアメンバーから始めて、周囲に広めていこう
- ・ボランティアの参加を得ることも大切



まちの『ルール』づくり

・駅ができるなど開発されていく南吹田の住環境の保全の方法を考えよう

- ・ゴミ出しなどの生活の中のルールもきちんとしたい。
- ・公園や道路の使い方も考えたい
- ・今のまちなみや雰囲気を変えないように新しい建物の高さや看板などのルールが必要
- ・まちに 1 本ずつ木を植えていきたい
- ・隣近所の付き合いを大切にしたい



リサイクル活動による環境にやさしいまちづくり

- ・新しく駅ができることにあわせて、高い意識を持ち、まち全体できれいなまちを維持していこう
- ・まず、環境に対する勉強をしよう。
- ・できることから取り組んでいこう!
- ・環境への取り組み意識の高いまちにしよう!
- ・アルミ缶や古紙回収をしよう



まちづくりの体制づくり

- ・取り組んでいる人や場所から地域に広げていこう
- ・町会や二連合の協力で活動組織の形成
- ・地域力でアクションを起こす
- ・まちづくり会議を継続させていこう

平成 20 年度まちづくり会議後半(第 5 回～第 7 回)の内容
～駅前交通広場についてのワークショップ～

おおさか東線新駅の開設にあわせて吹田市が整備する駅前交通広場の計画について、話し合い、まちづくり会議案をまとめました。

第 5 回、第 6 回では、駅前交通広場を整備する道路整備課から計画概要についての説明を受けたのち、様々な事例写真を参考にして、駅前交通広場の全体イメージを出し合い、具体的なデザインイメージを話し合いました。

第 7 回では、前回までのまちづくり会議で話し合われたアイデアを道路整備課で 3 つの駅前交通広場案に整理・分類したのち、基本となる駅前交通広場案を 1 つ選びました。

結果、下記の駅前交通広場案がまちづくり会議案となりました。

今後、この案をベースとして他の 2 案の意見も取り入れていきます。



駅前交通広場まちづくり会議案

(吹き出しは図面の説明)

花や緑を植える

モニュメントやシンボルツリーなどをおく

ボランティアなどによる管理をする

雨水が溜まらない透水性舗装や排水性舗装にする



* 今後、関係機関との協議により、駅前交通広場の計画平面図や周辺交通形態等は、変更になる可能性があります。

身体障がい者用駐車場を駅側に近くする

シェルターを付けて雨に濡れないようにする

まとまった空間を確保する

バリアフリー(円滑な動線を確保する)

このまちづくり会議案を反映しつつ、今後、詳細設計を進めていきます。